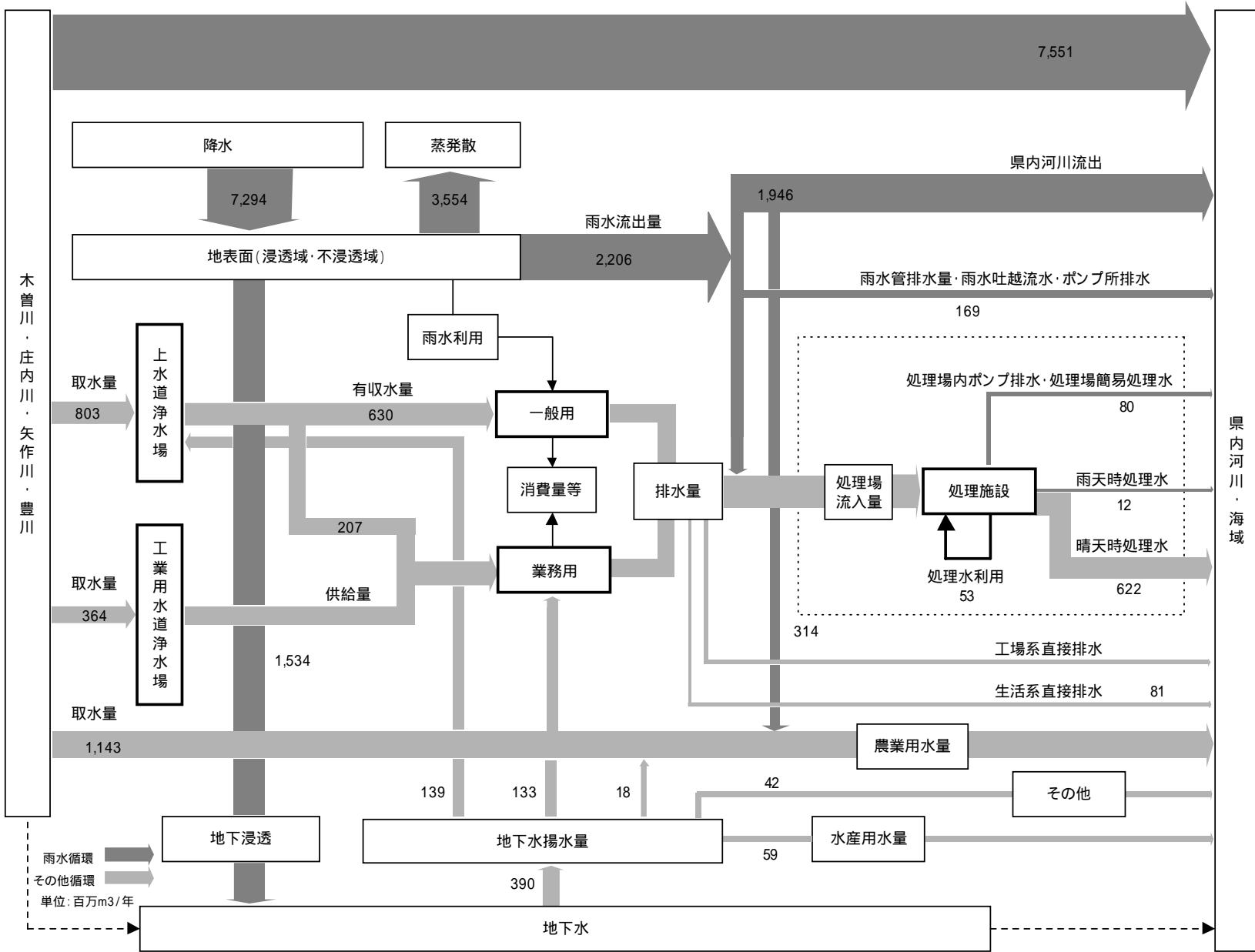
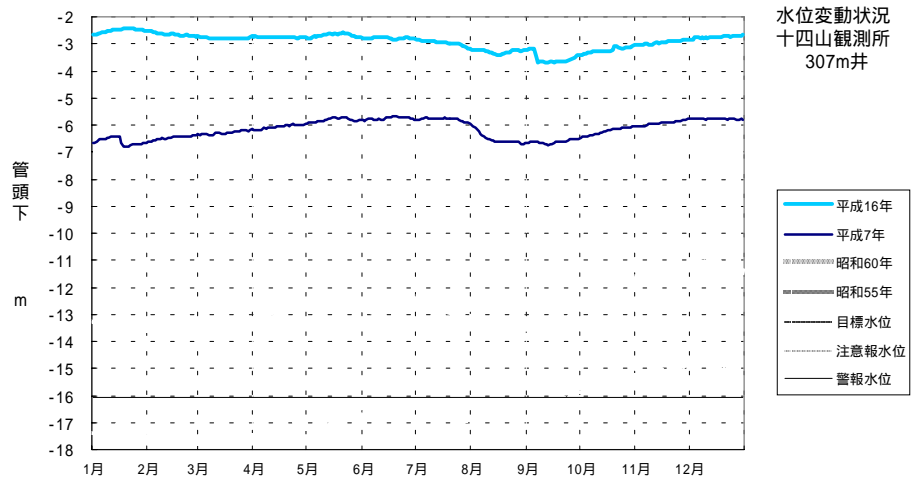
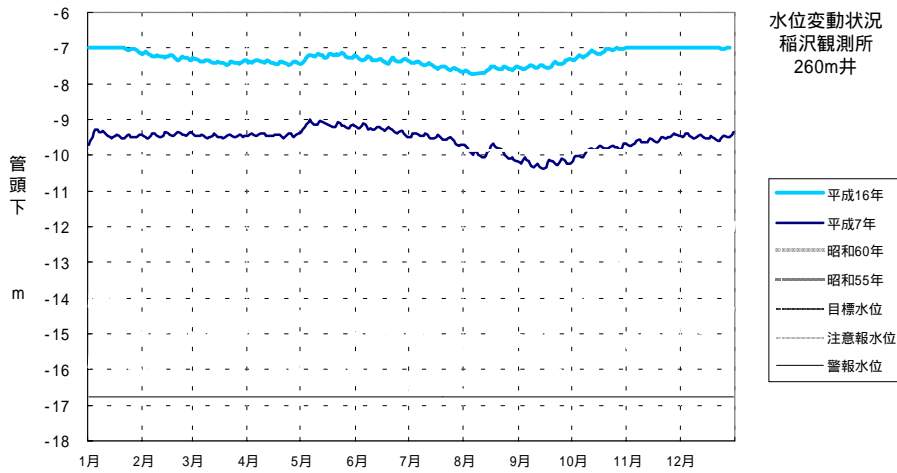
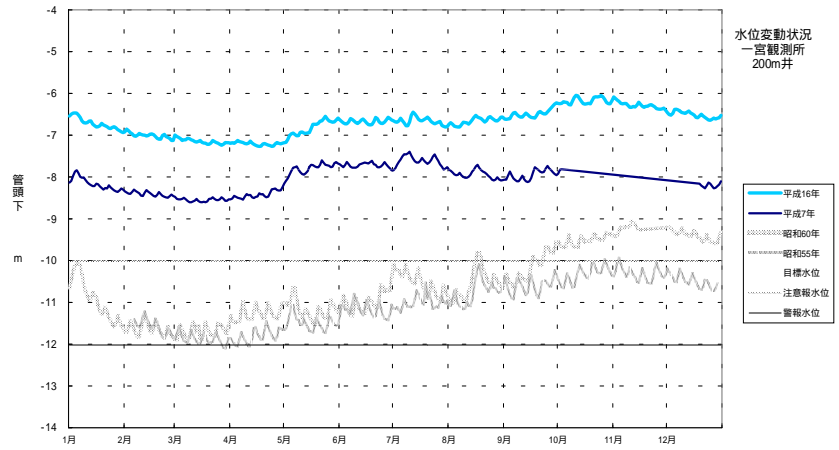
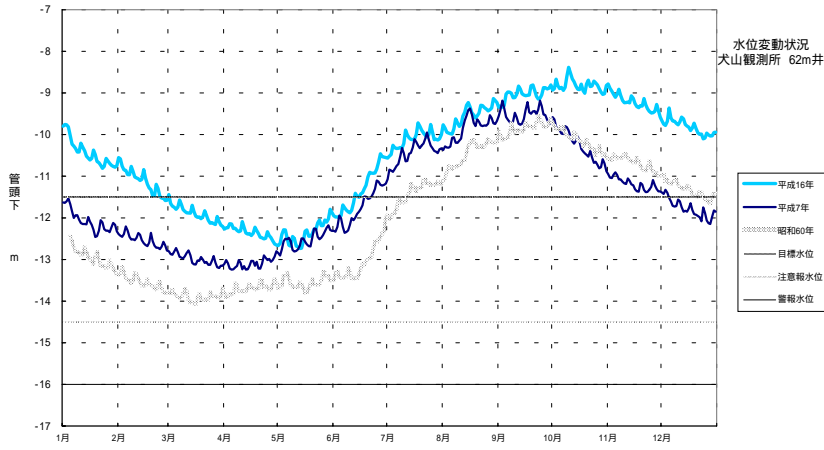


委員意見に対する見解について

委員意見	見 解
愛知県の水収支はどうなっているか。	愛知県の水収支は、別紙 1 のとおりです。
尾張地域の涵養域と下流域における地下水位の状況はどうなっているか。	<p>過去に大きな地盤沈下が見られた、濃尾平野の尾張地域を例にとると、地下水涵養域は犬山扇状地を中心とした地域であり、流下域を経て沈下域に至っています。</p> <p>地盤沈下観測所における地下水位の変化は、別紙 2 のとおりです。</p> <p>これによると、尾張地域の揚水量の削減に伴い、地下水位は、流下域、沈下域では大きく上昇しています。</p> <p>また、涵養域である犬山自動観測所でも上昇しています。</p> <p>ただし、犬山の第 2 帯水層は 62m と比較的浅いことから不圧地下水の性格を帯びており、地表からの涵養の影響を受けているのがわかります。</p>
産業系を含む発生負荷量の状況はどうなっているか。	本県の平成 11 年度から昭和 54 年における伊勢湾に流入する COD に係る汚濁負荷量は約 3 割削減されており、産業系については約 4 割削減がなされています。
排水処理水の流入による河川水質への影響について、調査事例があったら示されたい。	<p>矢田下流域について、環境基準の類型見直しの際して行った調査では、高度に処理された排水処理水が流入する支川により、本川の水質の顕著な改善が見られています。</p> <p>詳細については、別紙 3 のとおりです。</p>
農地が減っているのに農業用水使用量が減少しないのはなぜか。	裏作として畑に利用するなどの水田の汎用化に伴う単位面積当り用水量の増加、水の反復利用率の低下などの増加要因もあって、取水量としてはほぼ横ばい傾向にあるものと推定されます。
BOD だけでなく、農薬などの微量物質の調査結果はどうなっているか。	<p>公共用水域における農薬の実態調査については、現在使用可能な農薬 26 種類のうち、過去にゴルフ場排水調査及び公共用水域調査で検出された 6 種類を調査対象としています。平成 6 年度より測定しており、近年、指針値を上回る検出はありません。</p> <p>内分泌攪乱化学物質については、平成 10 年度より調査を行っています。詳細は別紙 4 のとおりです。</p> <p>ダイオキシンについては、平成 4 年度から河川、海域の水質、底質、魚類について調査を行っています。</p> <p>近年、検出値は環境基準値内でしたが、平成 16 年度は油ヶ淵流域で超過した地点がありました。</p>

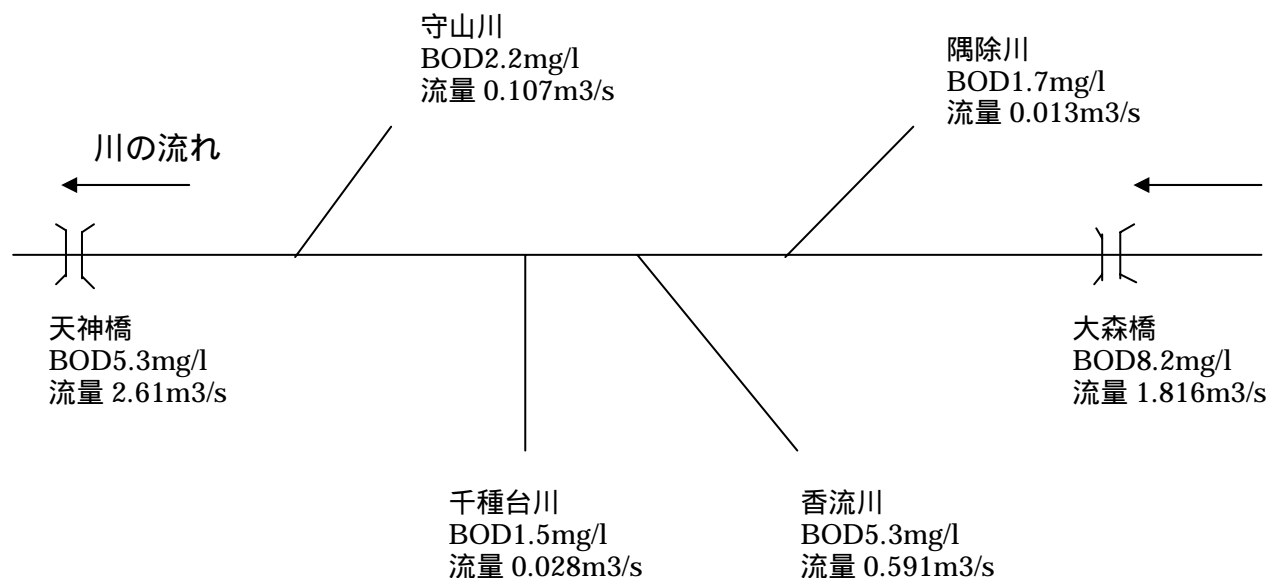


愛知県域の概略水収支図



排水処理等の流入による河川水質の変化について

- ・ 矢田川下流域の水質について、流入河川による影響をみてみました。
- ・ 矢田川下流域には、香流川など 4 河川が流入していますが、流入河川のうち香流川の流量が最も多く、その流量は流入する 4 河川の合計流量の 8 割を占めております。
- ・ 香流川には、下水処理場やし尿処理場など高度に処理された排水処理水が流入しております。
- ・ 矢田川下流域における水質の変化をみてみると、上流の大森橋では BOD8.2mg/l、下流の天神橋では BOD5.3mg/l、流入する香流川の BOD は 5.3mg/l となっており、香流川の水質が大きく影響しています。



(注)BOD や流量は、平成 16 年度の年平均値を示しています。

内分泌かく乱化学物質（環境ホルモン）調査について

平成 16 年度は、水環境調査では 10 地点で水質 9 物質、底質 3 物質、水生生物（魚類）5 物質の調査を実施しました。（表 1）

その結果、水環境については水質 3 物質、底質 2 物質が検出されましたが、水生生物（魚類）については全ての物質が検出されませんでした。

底質について検出されたアルキルフェノール類のうち 4 - t - オクチルフェノール及びノニルフェノールについては、平成 10 年度から 15 年度に国が行った全国調査結果の濃度範囲内を超えていました。

表 1 大気環境調査及び水環境調査における内分泌攪乱化学物質及びその検出状況

No.	調 査 物 質	調 査 名				備 考	
		大気環境調査	水 環 境 調 査				
		大気質	水質	底質	水生生物（魚類）		
1	ヘキサクロロベンゼン					農薬	殺菌剤、有機合成原料
2	DDE（ジクロロジフェニルジクロロエチレン）					農薬	殺虫剤（DDTの代謝物）
	o,p'-DDE						
	p,p'-DDE						
	DDD（ジクロロジフェニルジクロロエタン）						
	o,p'-DDD						
	p,p'-DDD						
3	エンドスルファン（ベンゾエピン）					農薬	殺虫剤
	- エンドスルファン						
	- エンドスルファン						
4	メソミル					農薬	殺虫剤
5	アルキルフェノール類					非農薬	界面活性剤の原料/分解生成物
	4-n-ベンチルフェノール						
	4-n-ヘキシルフェノール						
	4-n-オクチルフェノール						
	4-t-オクチルフェノール						
	ノニルフェノール						
6	ベンゾ（a）ピレン					非農薬	非意図的生成物
7	フタル酸ジ-2-エチルヘキシル					非農薬	プラスチックの可塑剤
8	フタル酸ブチルベンジル					非農薬	プラスチックの可塑剤
9	フタル酸ジ-n-ブチル					非農薬	プラスチックの可塑剤
10	フタル酸ジシクロヘキシル					非農薬	プラスチックの可塑剤
11	フタル酸ジエチル					非農薬	プラスチックの可塑剤
12	アジピン酸ジ-2-エチルヘキシル					非農薬	プラスチックの可塑剤
13	フタル酸ジベンチル					非農薬	プラスチックの可塑剤
14	フタル酸ジヘキシル					非農薬	プラスチックの可塑剤
15	フタル酸ジプロピル					非農薬	プラスチックの可塑剤
16	エストラジオール類					非農薬	人畜由来の女性ホルモン 人畜由来の女性ホルモン 経口避妊薬
	- エストラジオール						
	- エストラジオール						
	エチニルエストラジオール						
合 計（検出数 / 物質数）		5/10	3/9	2/3	0/5		

凡例 : 調査物質 : 検出物質 / : 調査対象外物質

(注) DDE及びDDD、エンドスルファン、アルキルフェノール類、エストラジオール類はそれぞれ1物質として計上した。

(資料) 環境部調べ